

第4学年 A 体づくり運動

◆「内容のまとめりごとの評価規準」

単元の到達目標（小単元のねらい）		
○手軽な運動や律動的な運動を行い、体の調子を整え、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができる。 ○みんなで仲よくかわり合いながら、進んで運動を楽しむことができる。 ○運動のしかたによって気持ちが変わることに気づき、運動の行い方を選んだり工夫したりできる。 ○回る、寝ころぶ、起きる、座る、立つ、渡る、バランスを保つなどの動きで構成される運動を通して、体のバランスをとる動きを身に付けることができる。 ○だれとでも仲よく進んで運動をすることができる。 ○場や用具の安全に気を付けて運動をすることができる ○体のバランスをとる運動の行い方を知り、行い方を工夫したり、友達のよい動きを見つけ自分の運動に取り入れたりすることができる。		
時数		
9		
知識・運動	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知っているとともに、体を動かす心地よさを味わったり、基本的な動きを身に付けたりしている。 ・体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりしている。 ・多様な動きをつくる運動では、体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをし、それらを組み合わせている。	自己の課題を見付け、その解決のための活動を工夫しているとともに、考えたことを友達に伝えている。	運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしようとしたり、友達の考えを認めようとしたり、場や用具の安全に気を付けたりしている。

第4学年 B 器械運動

◆「内容のまとめりと評価規準」

単元の到達目標（小単元のねらい）		
○手軽な運動や律動的な運動を行い，体の調子を整え，体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができる。 ○みんなで仲よくかわり合いながら，進んで運動を楽しむことができる。 ○運動のしかたによって気持ちが変わることに気づき，運動の行い方を選んだり工夫したりできる。		
時数		
8		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
次の運動の楽しさや喜びに触れ，その行い方を知っているとともに，その技を身に付けている。 ・マット運動では，回転系や巧技系の基本的な技を行っている。 ・鉄棒運動では，支持系の基本的な技を行っている。 ・跳び箱運動では，切り返し系や回転系の基本的な技を行っている。	自己の能力に適した課題を見付け，技ができるようになるための活動を工夫しているとともに，考えたことを友達に伝えている。	運動に進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしようとしたり，友達の考えを認めようとしたり，場や器械・器具の安全に気を付けたりしている。

第4学年 C 走・跳の運動

◆「内容のまとめりと評価規準」

単元の到達目標（小単元のねらい）		
○距離を決めて調子よく走ったり，走りながらバトンパスをすることができる。 ○運動に楽しんで取り組み，きまりを守り仲よく運動したり，安全に気を付けたりすることができる。 ○自分の課題を持ち，動きを身に付けるための活動や，競走のしかたを選ぶことができる。 ○短い助走から踏み切って，遠くへ跳ぶことができる。 ○運動に進んで取り組み，きまりを守り仲よく運動したり，安全に気を付けたりすることができる。 ○自分の力に合った課題を持ち，動きを身に付けるための練習方法や競争のしかたを工夫することができる。 ○短い助走から踏み切って，高く跳ぶことができる。 ○運動に進んで取り組み，きまりを守り仲よく運動したり，安全に気を付けたりすることができる。 ○自分の力に合った課題を持ち，動きを身に付けるための練習方法や競争のしかたを工夫することができる。		
時数		
1 3		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
次の運動の楽しさや喜びに触れ，その行い方を知っているとともに，その動きを身に付けている。 ・かけっこ・リレーでは，調子よく走ったりバトンの受渡しをしたりしている。 ・小型ハードル走では，小型ハードルを調子よく走り越えている。 ・幅跳びでは，短い助走から踏み切って跳んでいる。 ・高跳びでは，短い助走から踏み切って跳んでいる。	自己の能力に適した課題を見つけ，動きを身に付けるための活動や競争の仕方を工夫しているととともに，考えたことを友達に伝えている。	運動に進んで取り組み，きまりを守り誰とでも仲よく運動をしようとしたり，勝敗を受け入れようとしたり，友達の考えを認めようとしたり，場や用具の安全に気を付けたりしている。

第4学年 D 水泳運動

◆「内容のまとめりと評価規準」

単元の到達目標（小単元のねらい）		
○いろいろな浮き方やけ伸びをすることができる。また、浮き具を使ってばた足泳ぎやかえる足泳ぎができる。 ○進んで、仲よく運動することができる。 ○浮く・泳ぐ運動の心得を守って安全に気を付けて運動することができる。 ○浮く運動や泳ぐ運動の動きを身に付けるための練習のしかたを知り、自分の力に合った練習方法や練習の場を選ぶことができる。		
時数		
8		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知っているとともに、その動きを身に付けている。 ・浮いて進む運動では、け伸びや初歩的な泳ぎをしている。 ・もぐる・浮く運動では、息を止めたり吐いたりしながら、いろいろなもぐり方や浮き方をしている。	自己の能力に適した課題を見つけ、水の中での動きを身に付けるための活動を工夫しているとともに、考えたことを友達に伝えている。	運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしようとしたり、友達の考えを認めようとしたり、水泳運動の心得を守って安全に気を付けたりしている。

第4学年 E ゲーム

◆「内容のまとめりとごとの評価規準」

単元の到達目標（小単元のねらい）		
○攻撃と守備を交代しながら、ボールを蹴る・捕る・投げることを楽しむことができる。 ○規則を守りながら友達と励まし合ってゲームをしたり、進んで練習したりすることができる。 ○みんなが楽しめるように規則を工夫したり、ボールの蹴り方や簡単な作戦を考えたりしながら学習に取り組むことができる。 ○攻撃と守備を交代しながら、ボールを蹴る・捕る・投げることを楽しむことができる。 ○規則を守りながら友達と励まし合ってゲームをしたり、進んで練習したりすることができる。 ○みんなが楽しめるように規則を工夫したり、ボールの蹴り方や簡単な作戦を考えたりしながら学習に取り組むことができる。 ○両手や片手でボールを打ちつけ、味方にパスしたり相手コートにボールを返したりしながら攻守の切り替えを楽しむことができる。 ○規則を守りながら友達と励まし合ってゲームをしたり、進んで練習したりすることができる。 ○みんなが楽しめるように規則を工夫したり、ボールの打ちつけ方や簡単な作戦を考えたりしながら学習に取り組むことができる。 ○両手や片手でボールを打ちつけ、味方にパスしたり相手コートにボールを返したりしながら攻守の切り替えを楽しむことができる。 ○規則を守りながら友達と励まし合ってゲームをしたり、進んで練習したりすることができる。 ○みんなが楽しめるように規則を工夫したり、ボールの打ちつけ方や簡単な作戦を考えたりしながら学習に取り組むことができる。 ○基本的なボール操作やボールを持たないときの動きによって、易しいゲームをすることができる。 ○運動に進んで取り組み、規則を守って、仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたりすることができる。 ○規則を工夫したり、簡単な作戦を立てたりすることができる。		
時数		
34		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知っているとともに、易しいゲームをしている。 ・ゴール型ゲームでは、基本的なボール操作とボールを持たないときの動きによって、易しいゲームをしている。 ・ネット型ゲームでは、基本的なボール操作とボールを操作できる位置に体を移動する動きによって、易しいゲームをしている。 ・ベースボール型ゲームでは、蹴る、打つ、捕る、投げるなどのボール操作と得点をとったり防いだりする動きによって、易しいゲームをしている。	規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりしているとともに、考えたことを友達に伝えている。	運動に進んで取り組み、規則を守り誰とでも仲よく運動をしようとしたり、勝敗を受け入れようとしたり、友達の考えを認めようとしたり、場や用具の安全に気を付けたりしている。

第4学年 F 表現運動

◆「内容のまとめりと評価規準」

単元の到達目標（小単元のねらい）		
○具体的な生活や空想の世界などから、題材を選び、そのものの特徴をとらえて表現して、みんなで踊りを楽しむことができる。 ○いちばん表したいことを中心に、「はじめ、おわり」をつけた動きにして表現することができる。 ○だれとでも、仲よく練習や発表をしたり、場の安全に気を付けたりすることができる。 ○表現運動の動きのポイントを知り、動きやリズムを工夫したり、友達のよい動きを自分の踊りに取り入れたりすることができる。		
時数		
8		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知っているとともに、表したい感じを表現したりリズムに乗ったりして踊っている。 ・表現では、身近な生活などの題材からその主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで踊っている。 ・リズムダンスでは、軽快なリズムに乗って全身で踊っている。	自己の能力に適した課題を見付け、題材やリズムの特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫しているとともに、考えたことを友達に伝えている。	運動に進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ろうとしたり、友達の動きや考えを認めようとしたり、場の安全に気を付けたりしている。

3年

第2章「育ちゆくわたし」 第4学年 配当授業時数 4時間

章の目標	体の発育・発達に関する課題を見つけ、よりよい解決に向けて考える活動を通して、体が年齢に伴って変化すること、体の発育・発達には個人差があること、思春期になると体に変化が起こり、異性への関心も芽生えること、体の発育・発達には適切な運動、食事、休養および睡眠が必要であることを理解できるようにする。
------	---

単元名	学習内容	観点別の評価規準
① 大きくなってきたわたし	・体は年齢に伴って発育・発達し、変化すること。 ・体の発育・発達のしかたや時期には、個人差があること。	○体は、年齢に伴って変化すること、また、体の発育・発達には、個人差があることを、言ったり書いたりしている。(知識・技能) ○年齢に伴う体の変化から、体の発育・発達について課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを発言したり伝え合ったりしている。(思考・判断・表現) ○学習内容に関心を持ち、よりよく学ぼうとする意欲をもって、学習に粘り強く取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度) ○他者の考えも受け入れながら進め方を工夫改善するなど、自らの学習を調整しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
② 思春期にあらわれる変化1	・思春期には体つきに変化が起こり、男女の特徴が現れること。	○体は、思春期になると次第に大人の体に近づき、体つきが変わることを、言ったり書いたりしている。(知識・技能) ○思春期における体つきの変化から、体の発育・発達について課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを発言したり伝え合ったりしている。(思考・判断・表現) ○学習内容に関心を持ち、よりよく学ぼうとする意欲をもって、学習に粘り強く取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度) ○他者の考えも受け入れながら進め方を工夫改善するなど、自らの学習を調整しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

単元名	ページ	学習内容	観点別の評価規準
③ 思春期にあらわれる変化2	22 ー 23	・思春期には初経、精通などが起こったり、異性への関心が芽生えたりすること。 ・思春期の変化は、だれにでも起こる、大人の体に近づいているしるしであること。	○体は、思春期になると次第に大人の体に近づき、初経、精通などが起こること、また、異性への関心が芽生えることを、言ったり書いたりしている。(知識・技能) ○思春期における体の働きや心の変化から、体の発育・発達について課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを発言したり伝え合ったりしている。(思考・判断・表現) ○学習内容に関心をもち、よりよく学ぼうとする意欲をもって、学習に粘り強く取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度) ○他者の考えも受け入れながら進め方を工夫改善するなど、自らの学習を調整しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
④ よりよく育つための生活	24 ー 25	・体がよりよく育つためには、調和のとれた食事、適切な運動、じゅうぶんな休養・睡眠が必要であること。	○体をよりよく発育・発達させるには、適切な運動、食事、休養および睡眠が必要であることを、言ったり書いたりしている。(知識・技能) ○体のよりよい発育・発達について課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを発言したり伝え合ったりしている。(思考・判断・表現) ○学習内容に関心をもち、よりよく学ぼうとする意欲をもって、学習に粘り強く取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度) ○他者の考えも受け入れながら進め方を工夫改善するなど、自らの学習を調整しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)